

人間ドック・脳ドックの助成を行います

助成対象は「鴻巣市国民健康保険の被保険者で受診日当日35歳以上の方（国保税の未納がないこと）」及び「後期高齢者医療制度の被保険者（市税及び保険料の未納がないこと）」です。助成は年度内に1回が限度となります。問い合わせ／国保年金課保健事業担当（内線2654）

人間ドック

市指定医療機関で受診する場合（簡易1日人間ドック）

助成金額／27,000円

自己負担額／11,700円 ※下記検査項目以外の検査を行う場合、別途費用がかかることがあります

手続きの流れ／①医療機関に予約 ②保険証を持参し、国保年金課又は両支所福祉グループに申請（受診日の1か月前から受付） ③助成金受給者証・問診票等の書類を受領 ④受領した書類を持参し、予約日に受診 ⑤医療機関で自己負担額を支払う

検査項目／計測・診察・血圧測定・心電図検査・胸部レントゲン検査・胃部内視鏡もしくはレントゲン検査・腹部超音波検査・便潜血反応検査・尿検査・血液検査（血液一般・肝機能・脂質・腎機能・糖代謝・腫瘍マーカー）・総合判定

市指定医療機関以外で受診する場合（一般人間ドック）

助成金額／検査費用の7割（100円未満切り捨て）で限度額27,000円

手続きの流れ／①医療機関で検査を行い、検査費用を全額支払う ②必要書類を持参し、国保年金課又は両支所福祉グループに申請（助成額は指定の口座へ振り込まれます）

必要書類／保険証、受診者の「氏名」「受診日」「医療機関名」が明記された領収書及び結果票、振込口座情報

【重要】検査結果の取り扱い

市が助成する人間ドックを受けたことにより、特定健康診査を受診したとみなす場合があります。この場合、人間ドックの結果は実施主体である市・実施医療機関及び埼玉県国民健康保険団体連合会が管理し、国への報告等に活用します。

◆人間ドック市指定医療機関

医療機関名	電話番号	胃の検査方法	
		レントゲン	胃カメラ 鼻 □
① あおばクリニック	580-5670		○ ○
② 赤見台整形外科内科クリニック	595-1100		○ ○
③ おおさきクリニック	580-7720		○
④ 大塚医院	541-0932		○
⑤ こうのす共生病院	541-1131	○	○ ○
⑥ 鴻巣外科胃腸科	543-7770	○	○
⑦ 鴻北クリニック	595-3733		○ ○
⑧ 埼玉脳神経外科病院	541-2800	○	○
⑨ 斎藤外科胃腸科医院	541-4345	○	○ ○
⑩ 佐野医院	541-2888		○
⑪ サンビレッジクリニック鴻巣	540-0088		○
⑫ 高橋胃腸科医院	542-5018		○
⑬ たけうちクリニック	594-7701		○
⑭ 田嶋医院	548-6230		○ ○
⑮ 中村医院	541-1331		○ ○
⑯ ふたむら内科クリニック	540-6635		○
⑰ ヘリオス会病院	569-3117	○	
⑱ 星野医院	542-8911		○ ○
⑲ 村越外科胃腸科肛門科	548-0048		○ ○

脳ドック

必須検査項目／MRI（磁気共鳴断層撮影）、MRA（磁気共鳴血管撮影）

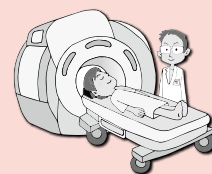
※必須検査項目を行っていない場合は助成の対象となりません

助成金額／検査費用の7割（100円未満切り捨て）で限度額28,000円 ※検査費用等は医療機関によって異なります

医療機関／指定はありません。市内では上記⑤・⑧・⑰・⑱及びわたまクリニック（☎541-5756）で検査できます

手続きの流れ／①医療機関で検査を行い、検査費用を全額支払う ②必要書類を持参し、国保年金課又は両支所福祉グループに申請（助成額は指定の口座へ振り込まれます）

必要書類／保険証、受診者の「氏名」「受診日」「医療機関名」が明記された領収書及び結果票、振込口座情報



保健センターからののお知らせ

鴻巣保健センター（☎543-1561・FAX 543-5749） 吹上保健センター（☎548-6252・FAX 549-2696）

※鴻巣保健センターに車でお越しの方は、市役所駐車場をご利用ください

50歳からの男性料理教室 “気軽にはじめる！オヤジ飯”

コース	とき(全2回)	ところ
A (初心者向け)	12月7・10日(火・金) 10時～12時	鴻巣保健センター
B (初心者向け)	1月21・27日(金・木) 10時～12時	吹上生涯学習センター
C (経験者向け)	2月22日・3月1日(火) 10時～12時	鴻巣保健センター

対象／市内在住で50歳以上の男性

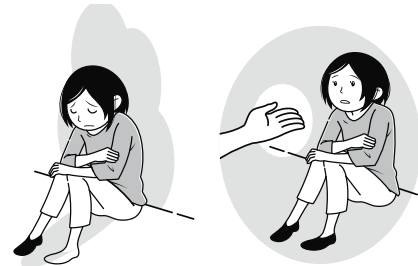
定員／各コース 8人(先着順)

内容／○A・Bコース＝包丁の持ち方、調味料の計り方、ご飯の炊き方など ○Cコース＝だしのとり方など料理をおいしく作るポイント

費用／各回500円(材料費・当日集金)

申込み・問い合わせ／11月19日(金)の9時からコース初日 1週間前の17時までに電話で鴻巣保健センター

精神保健教室 ひきこもりセミナー



とき／12月8・9日(水・木) 13時30分～15時30分
(全2回)

ところ／鴻巣保健センター

対象／市内在住の当事者や家族、支援者等

定員／10人(先着順)

内容／○田中剛さん(公認心理士・精神保健福祉士)による講義 ○西崎信太郎さん(体験者・ひきこもり支援相談士)による体験談 ○グループワーク、CRAFT(クラフト)の体験

費用／無料

申込み／11月24日(水)の9時以降に電話で鴻巣保健センター



もしかして…と思ったら “認知症初期集中支援チーム”に相談を

現在、65歳以上の4人に1人が認知症又は予備軍と言われていています。認知症は誰でも発症する可能性がある身近な病気です。発症後も本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、市では患者や家族を支援する「認知症初期集中支援チーム」を設置しています。

認知症初期集中支援チームとは

認知症の知識を持つ専門職(看護師、精神保健福祉士、社会福祉士)からなるチームです。認知症サポート医が指導や助言などのバックアップをしています。必要な医療や介護の導入、調整や家族支援など初期の支援を包括的・集中的に行い自立生活をサポートします。

支援対象者／市内在住の40歳以上で認知症又はその疑いがあり、次のいずれかに該当する方

○認知症の診断を受けていない又は治療を中断している ○医療サービスや介護保険のサービスにつながらない又は中断している ○公的サービスは利用しているが、症状が強く対応に困っている

主な支援内容／自宅に訪問し、本人や家族の困りごと等を確認します。必要に応じて、関係機関と連絡を取りながら、状況に合わせた支援を約6か月間行います。

費用／無料

問い合わせ／認知症初期集中支援チーム(地域包括支援センターこうのとりのり内・☎596-2283)